

2022年度 日本工学院専門学校											
デザイン科 プロダクトデザイン専攻											
デザイン実習 3 A											
対象	2年次	開講期	後期	区分	必修	種別	実習	時間数	60	単位	2
担当教員	白鳥裕之			実務 経験	有	職種	プロダクトデザイナー				
担当教員紹介											
<p>プロダクトデザインを中心に企業との商品開発やディレクションを行いながら、これまでのキャリアを通じて出会った様々な地域の人、技術、資源をつなげる新たな商社としての役割のほか、自社でのオリジナル商品の開発や販売、イベント企画なども行っている。</p>											
授業概要											
<p>この授業では、出題される課題のテーマに沿って、講師からの解説を受けます。社会の中から問題や魅力を見つけ、学生自ら要求項目の設定、使用シーンに沿った適正なデザインを提案する実習授業です。講師のレクチャーから学びを深め、学生の「製品デザインの提案力」を育成していく。この授業に主体的に参加する学生が、自分の「デザイン提案」を自分自身の実践し、プレゼンテーションできるようになることを目指す。</p>											
到達目標											
<p>この科目ではプロダクトデザイナーへの専門性を高めていくために、学生自ら社会で潜在する問題や魅力をよく調査し、問題提起からコンセプト立案を行います。さらにそれを具現化させるためのアイデア検討、提案モデルの制作、図面・3Dの作成、プレゼンテーションを行います。プロダクトデザイナーの仕事や役割を理解し、デザインの現場で活躍するために必要な技術や知識を向上させること、段階的にデザインの適正を考慮して、商品提案ができるようになることを目標にしている。</p>											
授業方法											
<p>課題ごとに、ワークショップ、アイデア展開、モデル製作、プレゼンテーションを行うステップごとに講師から資料や説明を行いレクチャーを受けながら進める</p>											
成績評価方法											
プレゼン	20%	制作物の発表方法、内容について評価する									
課題完成度	40%	提出課題完成度を総合的に評価する									
リサーチ	20%	制作準備と過程を評価する									
平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
履修上の注意											
<p>この授業では、学生に、実際に工業デザインの企画提案をしてもらう機会になります。授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。今後、現場で求められる専門的な知識と技術の修得を考えた前段階の実習になります。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者はこの科目合格することができない。</p>											
教科書教材											
<p>授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする</p>											
回数	授業計画										
第1回	第1課題「かける」 課題説明、ワークショップ（グループワーク）										
第2回	発表、アイデア展開（グループワーク）										
第3回	アイデア検討、ラフモデル製作										
第4回	中間チェック アイデア提出										
第5回	モデル作成										

2022年度 日本工学院専門学校	
デザイン科 プロダクトデザイン専攻	
デザイン実習 3 A	
第6回	モデル製作、プレゼン事前確認
第7回	プレゼンテーション
第8回	第2課題「TOKYO」 課題説明、ワークショップ
第9回	アイデア検討
第10回	アイデア検討、ラフモデル製作
第11回	中間チェック、アイデア提出
第12回	モデル製作
第13回	モデル製作、プレゼン事前確認
第14回	プレゼンテーション
第15回	資料整理、最終課題提出